

平成23年度

橋梁技術発表会及び講演会

— 鋼橋技術の進化と継承 —

参加費無料
定員 **350** 名
申込先着順

会場

ドーンセンター

(大阪府立男女共同参画・青少年センター7Fホール)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49
Tel.06-6910-8500

平成23年

日時

10

金

28 13:00~16:55

13:00~13:10

開会の辞

社団法人日本橋梁建設協会
副会長・専務理事 中島 威夫

13:10~13:40

橋建協報告

東日本大震災 被害調査報告
東日本大震災復興対策本部

申込方法

- ①Fax. **06-6535-5086**(裏面の用紙に記載)
②ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受け」まで(受付は8月上旬から)

申込期限

平成23年10月14日(金)

連絡先

社団法人 日本橋梁建設協会 近畿事務所
〒550-0005 大阪市西区西本町1-8-2 三晃ビル5階
Tel. 06-6533-3238

継続教育 CPDS認定予定

- ※東京地区は 10月14日(金) 銀座プロッサムホール
東北地区は 11月 8日(火) 仙台国際センター
中部地区は 11月15日(火) 東建ホール・丸の内
九州地区は 11月25日(金) 福岡商工会議所 開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

第1部:技術発表会

13:40~14:20

1.機能分離型支承の選定と 鋼床版端部構造の提案

一機能分離型支承の採用にあたっての留意事項と
耐久性を考慮した鋼床版桁の伸縮装置取付け部の一提案—
技術委員会 設計小委員会 加賀 豊文

14:20~15:00

2.Huey P. Long橋(米国・ルイジアナ州) 工事報告

一トラス橋拡幅(新旧トラスの一体化)工事における
製作・架設・プロジェクト運営について—
企画委員会 国際小委員会 中山 岳史

15:00~15:10

休憩

15:10~15:50

3.海外における鋼床版橋梁の 疲労に関する現状

一デッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労損傷について—
技術委員会 鋼床版小委員会 松下 裕明

第2部:特別講演会

15:50~16:50

1.待ったなしの公共事業調達改革

愛媛大学
防災情報研究センター
教授 木下 誠也



16:50~16:55

閉会の辞

橋梁技術発表会実行委員会

アクセス



- 京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通して1番出口より東へ約350m。
- 地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

1 機能分離型支承の選定と鋼床版端部構造の提案

ー機能分離型支承の採用にあたっての留意事項と耐久性を考慮した鋼床版桁の伸縮装置取付け部の一提案ー

ゴム支承の小型化とコスト縮減を目的に開発された機能分離型支承において、作業空間が狭くなることや水平支承据付け施工の煩雑などが問題になっている。そこで採用決定の一助として施工性・維持管理上の問題点を整理し設計時の参考資料としてまとめた。鋼床版桁の伸縮装置においては以前より漏水や振動による高力ボルトの腐食や緩みが報告されている。これらの弱点をなくし耐久性向上を主眼とした新しい鋼床版桁端構造の設計例を提案する。

2 Huey P. Long橋(米国・ルイジアナ州)工事報告

ートラス橋拡幅(新旧トラスの一体化)工事における製作・架設・プロジェクト運営についてー

Huey P. Long橋はアメリカ南部のルイジアナ州ニューオリンズ近郊に位置しており、1935年に供用開始された鉄道道路併用橋梁で3径間連続カンチレバートラス橋と単純トラス橋からなる。本工事は、老朽化した既存トラス橋を補強し且つ新トラスを既存トラスと一体化させ拡幅を図るものである。本報告では拡幅工事の特徴や問題点を中心に、製作・架設・プロジェクト運営等に関しアメリカと日本との違いを含めて紹介する。

3 海外における鋼床版橋梁の疲労に関する現状

ーデッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労損傷についてー

重交通路線に位置する国内の鋼床版橋梁において疲労損傷が発生し、種々の補修・補強対策が施されています。近年、鋼床版小委員会では海外の鋼床版にも目を向け、2008年に鋼床版会議(Orthotropic Bridge Conference)、2010年に日独橋梁シンポジウムへ参加しました。さらに、デッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労に関しては、2005年にオランダにおけるデッキプレート貫通き裂、本年4月にはイギリスにおけるビード貫通き裂の現況調査を実施しています。ここでは、これらの調査結果を元に、海外におけるデッキプレートと閉断面リブ溶接線の疲労損傷の現状について報告します。

特別講演会 講演者紹介

1 待ったなしの公共事業調達改革

木下 誠也

愛媛大学
防災情報研究センター 教授

ー略歴ー

1978年 東京大学大学院工学系研究科土木工学
専門課程修士課程修了、建設省入省
1990年 建設省近畿地方建設局
和歌山工事事務所長
1996年 建設大臣官房 建設技術調整官
2000年 建設省建設経済局 国際課長
2002年 国土交通省土地・水資源局水資源部
水資源計画課長
2004年 国土交通省中部地方整備局 企画部長
2007年 内閣府 沖縄総合事務局次長
2008年 国土交通省 近畿地方整備局長
2010年 愛媛大学防災情報研究センター 教授
(現在に至る)
2009年 関西大学客員教授
2009年～ 京都大学経営管理大学院 特命教授
2010年～ 土木学会建設マネジメント委員会 副委員長
2010年～ 国際大ダム会議 環境委員会委員

ー研究分野ー

建設マネジメント、公共経営、河川・水資源計
画、防災

ー所属学会ー

土木学会、応用生態工学会

ー主要論文・著作ー

建設事業におけるISO9000シリーズ
(1997年、共著)、現場技術者のための土木
施工管理ポケットブック(1999年、分担執筆)
等の著作のほか、「公共工事の入札契約にお
ける企業評価の変遷と今後のあり方に関する
考察(共著)」(土木学会建設マネジメント研究
論文集、Vol.16、2009年)、「会計法における
公共工事入札制度の歴史的考察(共著)」(土
木学会論文集 F4(建設マネジメント)特集号、
Vol.66 No.1、2010年)等、論文多数

講演概要

わが国の公共事業調達制度は、西洋の制度に習って明治22年に会計法が制定されて以来、予定価格制度をはじめとする基本的枠組みが変わっておらず、公共工事市場の縮小に加え、独禁法の強化等による市場構造の転換など公共事業を取り巻く環境が大きく変化する中で、さまざまな問題が生じはじめている。本講演では、わが国及び諸外国の公共事業調達制度の変遷を比較してレビューすることにより、今後の公共事業調達制度改革の方向性を示す。

FAX番号:06-6535-5086

平成23年度

10月28日(金)

橋梁技術発表会

[大阪地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無